

植物多様性センターの「トチノキの不吉な子だくさん」

情報館前のトチノキに異変が起きています。2本あるトチノキのうちの1本が、ブドウの房のようにたくさんの果実をならせているのです。本来ならこの時期には、トチノキは未熟な果実を落として、1本の花序当たり1~2個に減らしてしまうはずですが。いったいどうしたのでしょうか？じつは、東側のトチノキは樹勢が衰えて、枝数がかかなり減ってしまっています。もしかしたら、枯れる前に子孫を残そうと必死になっているのかもしれないね。



西側のトチノキ

5月中旬：1花序あたり数百花。
果実をつける両性花は少ない



西側のトチノキ

5月下旬：受精した若い果実は
途中までたくさんついている



西側のトチノキ

7月上旬：同じ花序、2個に減って
しまった果実。これが本来の姿



東側のトチノキ

7月上旬：たわわになった果実、
1花序に10個以上もついている